

申請者名

株式会社雷神

体制図

9月から12月までの4か月間で、土曜日の午後2時から3時に2コマを月6回、合計25コマをNaDeCベースで行う。NaDeCベース以外の場所でも必要に応じて実施する。長岡市地域振興戦略部から依頼のあった集落支援員への講座(2コマ3回)については、各地域の都合を踏まえ開催日、開催場所を同期間内に調整する。教材と送迎については地域振興戦略部が行う。

講習会等の実施計画

全12回、25コマ(初回のみ安心・安全を1コマ追加)を隔週で基本講座と応用講座を実施する。1～12回のうち、偶数回を応用講座「マイナンバーの取得方法」とする。奇数回については2回づつ同じ基礎講座を行う。具体的には①③「安心・安全」⑤⑦「SNSの使い方」⑨⑪「オンライン会議(ZOOM)」。集落支援員への講座は地域振興戦略部の意向で「SNSの使い方」全6コマとする。

基本講座

	電源の入れ方等	電話のかけ方等	アプリ等	ネットの使い方等	メール等の使い方	地図アプリの使い方	SNSの使い方	オンライン会議	安心・安全
実施コマ数							4	4	5

応用講座

	マイナンバーカード	マイナポータル	マイナポイント	e-Tax	オンライン診療	地域オンライン行政
実施コマ数	12					

支援員数	アシスタント数	基本講座：実施コマ総数	応用講座：実施コマ総数
8	5	13	12

講師の確保	長岡高専の現役高専生が起業した㈱雷神は、長岡高専とつながりが強く、高専に在籍する1,000人の学生からボランティアの講師を学内募集できるため、容易に講師の獲得が可能。
講師の養成・資格	長岡高専では、電子制御学科の学生をはじめ、機械や情報など、どの学科でも理系の専門教育を行っており、講師として高専生は適任である。
講師の管理	講師の管理については、「スラック(プロジェクト管理アプリ)」を用い、「スマホ教室」「教授法」「コミセン」「地域戦略部」など、プロジェクトごとに管理者をたて、関係者がWeb上でリアルタイムに意見交換ができるようになっている。月に一度は全員がオフラインで集まり、問題点についてのミーティングをしている。

現状の課題

高齢者の多くはスマホに拒否反応や苦手意識を持っている。質問をしたいが操作について気軽に相談できる環境がない。キャリアの相談や電話での問い合わせで解決することはまずない。→なくても困らないので問題を放置。

スマホこわい！



実施予定事業

ITに詳しい長岡高専生が一からやさしく教えてくれる
→丁寧な指導、孫のようで安心



長岡市集落支援員へのIT教育
→過疎地域のICT化の試み

無料IT相談室

受講者からの強い要望
個別サポート・追加レッスン
→いつでも相談できる安心感



実施の効果

危機管理としての
スマホ所持率向上

マイナンバー
所持率の向上

